

選手直前インタビュー 俺の出番だ!!



金子幸央

(栃木/101期)

去年の終盤からずっとよくなかったけど、(3月)岸和田は徐々に決勝に乗れて、そこから感触がよくなりました。(5月松戸ダービーの落車は)全然大丈夫、痛い痛いですけど。地元記念は毎年のように呼んでもらっているし、気合を入れて走ります。

飯嶋則之

(栃木/81期)

地元記念はみんな出れるわけではないので、走らせてもらえるのはありがたいです。自分の感覚は少しずつよくなっています。その感覚をさらに研ぎ澄ましていきたい。意気込みすぎないようにして、ひとつでも上のレースを走れるように頑張ります。



野口裕史(千葉/111期)

パワフル先行で売り出す注目の存在。仕掛けのタイミングを外した時のリカバリー力はまだないが、出切って自分の形に持ち込んだ時の破壊力は別格。準決を逃げ切った1月大宮記念に続くヒットはあるか。



河合佑弥(東京/113期)

今年1月に特進を果たしたハイレベル 113期勢軍団の一員。卓越したダッシュ、スピードで2月西武園、3月立川とともに1①③着などS級でもすぐに頭角を現した。初の記念参戦でどこまでやれるか。



伊藤信(大阪/92期)

4月佐世保ではドミトリエフパーキンスのロシア勢を中団先まくりで一蹴して優勝を果たす大金星。ムラはあるが、コンスタントに一発を見せており、ノーマークにするには怖い存在だ。好機に放つ一撃に警戒。

S級ブロックセブン

5/19 (最終日) 6R

ブロックセブンとは

「推理しやすい、わかりやすい、的中しやすい」をコンセプトにした、競輪独特の「地区」の色合いをより濃く打ち出したS級7車立ての新たな単発レース。

ベテラン小林大介の首位獲りに期待だ。今年は年頭の奈良でいきなり優勝しているが、目標不発の展開から内をすくって抜け出したもので、俊敏な反応が光った。最近決勝を外す場所も目に付くが、しっかり練習はできているなら心配はなさそう。自在に攻める櫻井正孝の動きに乗るか、7車立てなら自分でやっても面白い。櫻井も近況はピリツとしないが、毎場所連対があり戦える状態。今回の相手なら腹をくくって先行勝負も。
高久保雄介ー北野武史の中近勢は互角以上の狙い。高久保もここところ決勝が遠いが、2月伊東で完全Vの脚は捨てがたい。タイミング良く仕掛けてスピードに乗ってしまえば、北野と決められる。
好調な西田雅志の出方にも注目。

混戦も小林大介で



小林 大介